

我が家には二匹の猫と一匹の犬がいます。犬の黒目はいつ見ても真ん丸ですが、猫の黒目は暗いところで大きくなり、明るいとこで細くなります。

見るたびにコロコロ変わる猫の目は、まるで様々な出来事によって一喜一憂している私の映し鏡のようです。無意識のうちに関心にとって都合が良いのか悪いのかを判断し、すべての物事を分け隔てていく、この心を仏教では「分別心（ふんべつしん）」と言います。

分別心は千差万別・・・どころか、一日のうちでもその基準がコロコロと変わるので厄介です。「良い人」だと思っていた人が、ちよつとした出来事で「悪い人」になり、時間が経てば「どうでもいい人」になったというような経験はありませんか。

これは全て自分を基準とした分別心の仕業です。物事の本質を知ろうとせず、自分は正しいという思いのもとで全てのことを分ければ分けるほど、居心地が悪くなり生きにくくなるのです。

問題の所在は、世間や他人ではなく、私のなかにあることを教えられます。

